

年頭所感



一般社団法人組込みシステム技術協会

会長 竹内 嘉一

あけまして、おめでとうございます。
旧年中は、当協会活動に格別なるご支援を賜り、心より感謝いたします。

本年も引き続きお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

第4次産業革命を迎え、政府より打ち出されたSociety 5.0で謳われている超スマート社会の実現をめざし、自動車業界をはじめとする様々な産業界が挙ってIoT化への取組みを加速させ、大きく実導入フェーズへと移行させている状況です。

そして、IoTの現実的な運用と成果を考えた際に、エッジコンピューティングは必要不可欠な存在となり、今や「エッジリッチ」、「エッジヘビー」というワードが飛び交うまでに重要性が高まっています。

この情勢の中、JASAは「組込み技術」と「つながる技術」の包括的なソリューションを発信する業界団体として、

今後益々これまでの枠組みを超えた活動が求められてくると考えています。

昨年11月に開催したEmbedded Technology/IoT Technology 2018展では、その試金石として、「ET（組込み技術）×ET（エッジテクノロジー）」によって実現されるスマートな社会」をスローガンに掲げ、業界団体として、国内外のIoT関連スタートアップ企業を招聘し、最新トレンドを発信できたことは、メディアや関係省庁の経済産業省にも高く評価をいただき、数年来低迷していた来場者数も伸ばすことができました。とはいえ、反省点、課題は多々あり、今年はさらにブラッシュアップをかけ、JASAのブランド・ロイヤリティ向上に寄与する魅力ある展示会に仕上げて参ります。

そして今年は、醸成されたエッジコンピューティングに代表される組込み技術

の重要性をさらに確かなものとし、産業構造変革の中核技術と足らしめ、JASAのプレゼンス向上を目指して、組込み業界の課題解決にまい進する所存です。

今年の干支は亥です。亥年の意味や特徴には諸説あるようですが、その中で「次のステージへと向かう準備期間」という意味があるようで、まさにJASAも「次のステージへと向かう」ために何に注力すべきかを見直す時期に入っています。

今年のJASA活動方針は、引き続き「連係と成長を育む環境の提供」「ビジネス創造と業界の活性化」「世界から注目されるJASA」を掲げ、現状課題を見つめ直し、メリハリのある事業活動を進めたいと考えます。

特に公益事業である技術本部と、収益事業であるET事業本部の活性化を中心に、そのアウトプットを活用し、各事業本部並びに各支部との連携を強化、国内外の企業・機関・団体とのコラボレーションを推進します。

今年も一年、皆さんと共に力を合わせ、知恵を出し、次のステージに向けた更なる第一歩を踏み出していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹賀新年

平成三十一年 一月

会	長	竹内 嘉一
副	会	長 加賀谷 龍一
副	会	長 松本 浩樹
副	会	長 佐野 勝大

専務理事 事業推進本部長	武部 桂史
人材育成事業本部長	杉本 浩
技術本部長	竹岡 尚三
ET事業本部長	渡辺 博之